

# 障害者権利条約と障害者自立支援法

2010. 6. 19

弁護士 辻川圭乃

## 人権とは

- **人権 (Human Rights)**
- 人間にとって普遍的な、人として行う諸活動の権利  
〈みんなの権利〉
- 「人間である限り、誰もが人権をもっており、人権は人間である限りに否定されることのない権利」

## 人権とは何か

- 日本国憲法第11条 基本的人権の享有
- " 第13条 個人の尊厳、幸福追求権
- " 第14条 法の下での平等
- " 第18条～23条 自由権
- " 第25条 生存権



侵すことのできない永久の権利

## 人権とは何か

- 日本国憲法第11条(基本的人権の享有と本質)

国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。

## 人権とは何か

- 日本国憲法第13条(個人の尊厳、生命・自由・幸福追求の権利の尊重)

すべて国民は、個人として尊重される。生命・自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

## 人権とは何か

- 日本国憲法第14条1項(法の下での平等)

すべて国民は、法の下に平等であつて、人権、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

## 人権とは何か

- 日本国憲法第18条(奴隷的拘束及び苦役からの自由)
- 日本国憲法第19条(思想及び良心の自由)
- 日本国憲法第20条1項(信教の自由)
- 日本国憲法第21条1項(集会・結社・表現の自由)
- 日本国憲法第22条(居住・移転・職業選択の自由、外国移住・国籍離脱の自由)
- 日本国憲法第23条(学問の自由)

## 人権とは何か

- 日本国憲法第25条1項(生存権)  
すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

## 人権をまもるとは

- 平等権＝差別をしない
- 自由権＝自由を制約しない
- 生存権＝放置しない

## 障害者基本法

- 第3条(基本的理念)
  - ① すべて障害者は、個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有する。
  - ② すべて障害者は、社会を構成する一員として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられる。
  - ③ 何人も障害者に対して、障害を理由として、差別することその他の権利利益を侵害する行為をしてはならない。

## 障害者権利条約

- 平成18年12月13日 国連にて採択
- 平成19年9月28日 日本も署名

### 第1条

この条約は、障害のあるすべての人によるすべての人権及び基本的自由の完全かつ平等な享有を促進し、保護し及び確保すること、並びに障害のある人の固有の尊厳の尊重を促進することを目的とする。 (JDF川島聡・長瀬修訳)

## 障害者権利条約

- Nothing about us without us  
=私たちのことを私たち抜きで決めないで！
- 「保護の客体」 ⇒ 「権利の主体」
- § 19 地域で暮らす権利  
=どこでどのように暮らすかを定める権利



## 人権侵害の例・・・虐待

- 身体的虐待
- 言葉による虐待
- 性的虐待
- 放置、ネグレクト
- 金銭搾取

## 身体的暴力

- 職場や施設での虐待
  - 水戸アカス事件
  - サン・グループ事件
  - 白河育成園事件
- 家庭での虐待
  - DV
  - 児童虐待

身体的暴力

職場や施設での暴力  
「アカス紙器」事件

**福祉を食う**  
—虐待される障害者—

**積極雇用で陰で暴力**  
水戸市の優良企業

**訴えに救いの手なく**  
「愚痴かと…」  
障害者福祉事務所職員

「アカス紙器」事件の被害者らによる訴訟。元社長と国庫を相手取り、損害賠償を求め提訴した男性の両親と従業員ら。元社長は「このままでは終わらせない」と訴えている。



アカス事件

2審も元社長に賠償命令

東京高裁 原告証言の信用性認定

水戸市の紙器メーカー「アカス」元社長が「暴行」を繰り返したとして、東京高裁は2審判決で、元社長に損害賠償を命じた。元社長の証言の信用性を認め、元社長の責任を認定した。元社長の証言は「暴行」を繰り返したとして、東京高裁は2審判決で、元社長に損害賠償を命じた。

アカス事件の控訴審判決後、記者会見する元女性従業員側の弁護団（21日、東京・麹が関）。

元社長の証言の信用性を認め、元社長の責任を認定した。元社長の証言は「暴行」を繰り返したとして、東京高裁は2審判決で、元社長に損害賠償を命じた。

涙の原告「よかった」

アカス事件の被害者ら

身体的暴力

職場や施設での暴力  
「サングループ」事件

画期的「感無量」原告喜び爆発



心の癒えぬ女性たち

サングループ損害賠償訴訟全面勝訴

障害者の人権擁護 行政の責務を明示

「このままでは終わらせない」と訴えている。元社長と国庫を相手取り、損害賠償を求め提訴した男性の両親と従業員ら。元社長は「このままでは終わらせない」と訴えている。

元社長と国庫を相手取り、損害賠償を求め提訴した男性の両親と従業員ら。元社長は「このままでは終わらせない」と訴えている。

**「サン・グループ」の障害者年金横領事件**  
「このままでは終わらせない」

元社長と国庫を相手取り、損害賠償を求め提訴した男性の両親と従業員ら。元社長は「このままでは終わらせない」と訴えている。

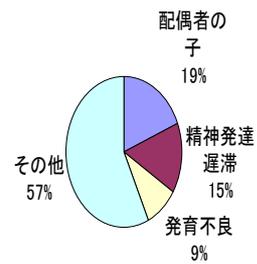
死した男性の両親と従業員ら



## 知的・発達障害はハイリスク要因

虐待を受けやすい子

- 言葉が遅い
- 知的な発達が遅い
- 他の子どもと比べて発達が遅いような気がする



## 性的虐待

- 身近な人が加害者
  - 作業所の所長
  - 看護師
  - 実父
  - 施設職員
  - 教師
  - 雇用主

# 性的被害

## 「つくしんぼう」事件

### 揺れる福祉現場

第一号として入った仕事

福祉現場は揺れている。介護現場では、介護士不足が深刻化している。また、障害者の権利意識が高まり、福祉現場は大きく変革を迫られている。...

### 「夢見た仕事」が温床に

障害者の権利意識が高まり、福祉現場は大きく変革を迫られている。...

### 「障害者」は「金道」か

障害者の権利意識が高まり、福祉現場は大きく変革を迫られている。...



# 「障害者への認識ない」

## 支援者ら怒り口々に

支援者の怒り口々に、障害者への認識が足りない。...



## 看護師の性暴力認定

### 茨城県にも使用者責任

茨城県の福祉施設で、看護師の性暴力認定。使用者責任も認められた。...

# 性的被害

## 「茨城県・看護師による性的虐待」事件

99.12.9 毎日(9)

### 「看護師から性暴力」

#### 慰謝料3000万円請求

#### 知的障害女性が提訴

茨城県で、看護師による性的虐待事件。知的障害女性が慰謝料3000万円を請求して提訴した。...

事件の詳細と経過。被害者の苦しみと、施設側の対応。...

身近な人が加害者

## 「岩手・実父と父友人らによる性的虐待」事件

毎日新聞 1997年(平成9年)2月6日(水曜日)

### 父ちゃんが怖い…

#### 相談所の対応鈍く

岩手県盛岡市で、15歳の少女が、実父と父の友人らから性的虐待を受けていることが、2月5日、盛岡市教育委員会から明らかになった。少女は、虐待を受けていることを相談したが、相談所の対応が鈍く、被害が拡大しているという。盛岡市教育委員会は、少女の保護と虐待者の処罰を求めている。

少女の母親は、虐待を受けていることを相談したが、相談所の対応が鈍く、被害が拡大しているという。盛岡市教育委員会は、少女の保護と虐待者の処罰を求めている。

少女の母親は、虐待を受けていることを相談したが、相談所の対応が鈍く、被害が拡大しているという。盛岡市教育委員会は、少女の保護と虐待者の処罰を求めている。

性的虐待

## 更生施設職員・特別支援学級教諭

北海道新聞 2004.11.2

### 職員、入居者に性的虐待

#### 昨年10月道特別監査行わす

後志の知的障害者施設

後志の知的障害者施設で、職員が入居者に性的虐待を行ったことが、北海道教育庁が昨年10月に実施した特別監査で明らかになった。施設長は、職員が性的虐待を行ったことを認め、謝罪した。施設長は、職員が性的虐待を行ったことを認め、謝罪した。施設長は、職員が性的虐待を行ったことを認め、謝罪した。

施設長は、職員が性的虐待を行ったことを認め、謝罪した。施設長は、職員が性的虐待を行ったことを認め、謝罪した。施設長は、職員が性的虐待を行ったことを認め、謝罪した。

## 金銭搾取

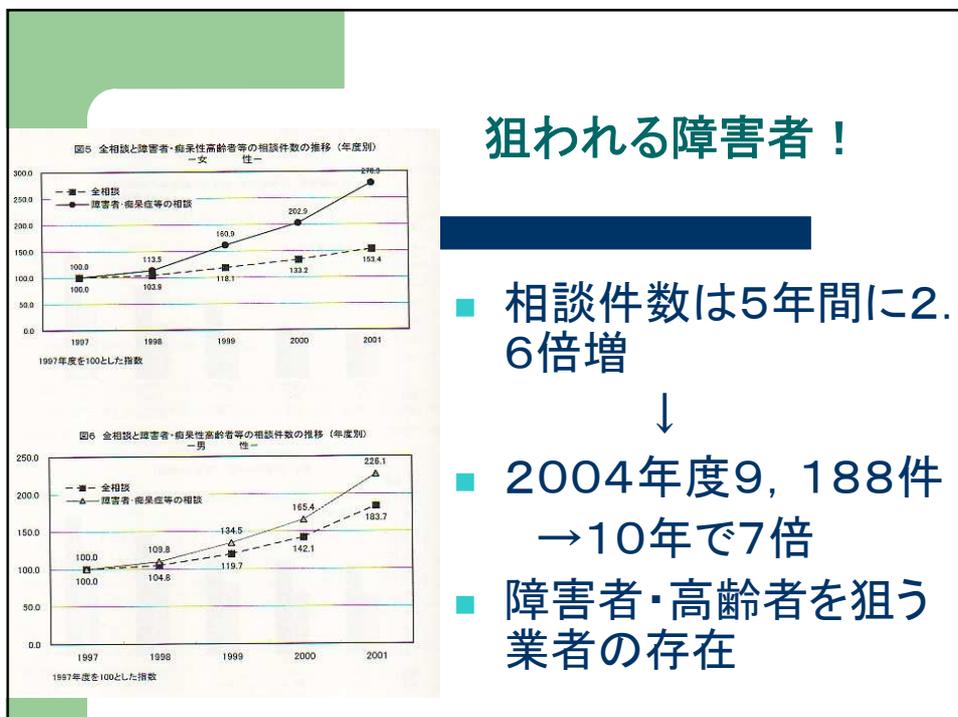
- 悪質商法
- 年金搾取
- 生活保護費詐取

## 狙われる障害者！

- 相談件数は5年間に2.6倍増



- 2004年度9,188件  
→10年で7倍
- 障害者・高齢者を狙う業者の存在





**犯人はほかにいる**  
 冤罪認め論出淡々  
 検察、法廷での謝罪なし

**詐欺(経済的搾取)**

---

**「宇都宮・年金詐取」**



**養父逮捕受け成年後見人  
 きょうにも申し立て**  
 井探 由

2. どんな被害にあっているのか?

**年金横領(経済的搾取)**

---

- 奈良県大橋製作所事件
- 北海道三丁目食堂事件



ケースワーカーあたいは  
 弁護士西村の奮闘記  
**障害のある人と向き合う介護**  
 西村武彦



## 虐待はどのようにして起きるのか

- 虐待の連続性
- 虐待の複合性
- 虐待の継続性



小さい虐待に気づいたら、その芽を摘む

## 人権感覚とは

- 相手の立場に立つ
- ↓
- 相手の痛みを理解する
- ↓
- 自分にされていやなことはしない
- ↓
- 個人の人格の尊重

## 疑似体験をしてみよう

- ・ ペットボトルをのぞいてみよう

33

## 疑似体験をしてみよう

- ・ 軍手で折り紙を折ってみよう

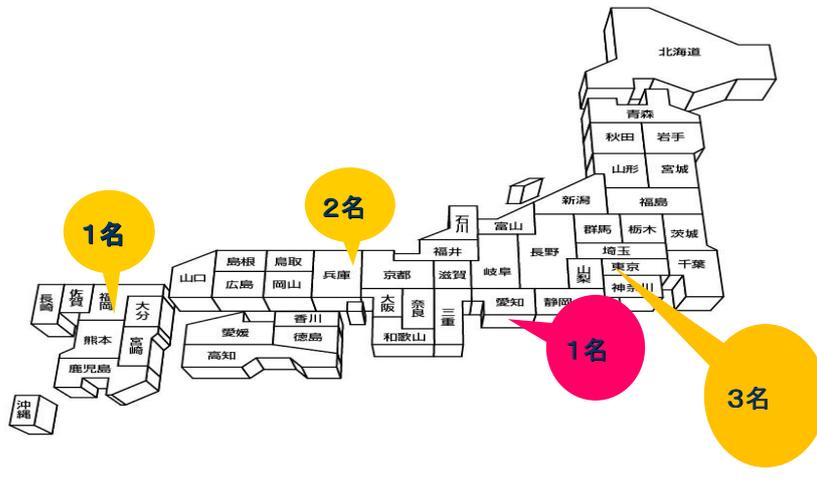
34



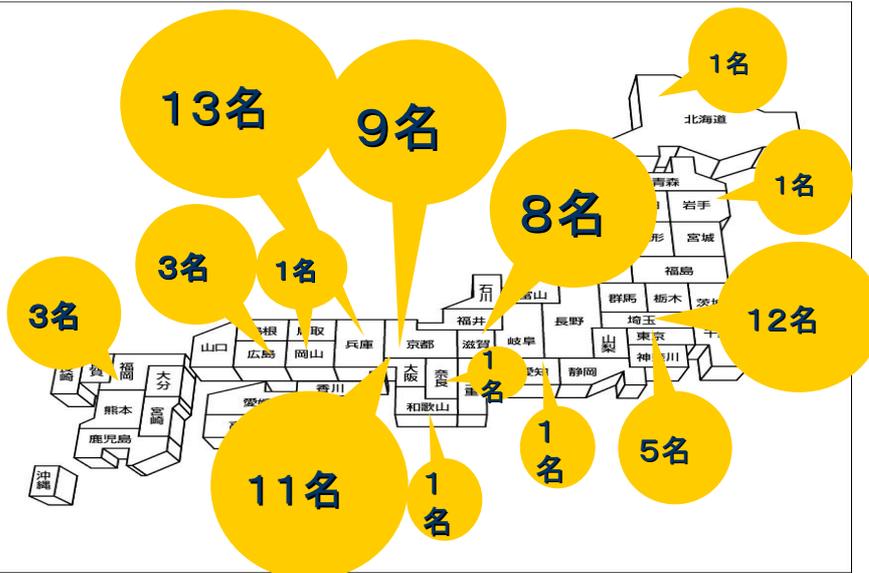




## ⑨2009. 10. 1 第三次7人提訴!



## 全国で70名 14地裁 に広がる!



2009. 8. 30 衆議院選挙

自立支援法を  
作った自民党・公  
明党から  
自立支援法廃止  
をマニフェストに  
あげる民主党へ  
の政権交代



2009. 9. 19長妻厚生労働大臣発言

**厚労相が廃止明言**  
障害者自立支援法 新制度の設計着手

長妻昭が19日、衆議院で「障害者自立支援法」の廃止を明言した。新制度の設計は、今年度から着手するとしている。障害者自立支援法は、障害者の生活の安定と自立の促進を図るための法律である。長妻氏は、この法律が、障害者の生活の安定と自立の促進に貢献している一方で、障害者の生活の安定と自立の促進に貢献していない部分があるとしている。そのため、この法律を廃止し、新しい法律を制定する必要があるとしている。新しい法律は、障害者の生活の安定と自立の促進を図るための法律である。長妻氏は、この法律を廃止し、新しい法律を制定する必要があるとしている。新しい法律は、障害者の生活の安定と自立の促進を図るための法律である。

**自立支援法廃止へ**  
障害者負担見直し 厚労相

長妻昭が19日、衆議院で「障害者自立支援法」の廃止を明言した。新制度の設計は、今年度から着手するとしている。障害者自立支援法は、障害者の生活の安定と自立の促進を図るための法律である。長妻氏は、この法律が、障害者の生活の安定と自立の促進に貢献している一方で、障害者の生活の安定と自立の促進に貢献していない部分があるとしている。そのため、この法律を廃止し、新しい法律を制定する必要があるとしている。新しい法律は、障害者の生活の安定と自立の促進を図るための法律である。長妻氏は、この法律を廃止し、新しい法律を制定する必要があるとしている。新しい法律は、障害者の生活の安定と自立の促進を図るための法律である。

## 2009. 10. 30 大フォーラムへの厚生労働大臣の参加及び発言



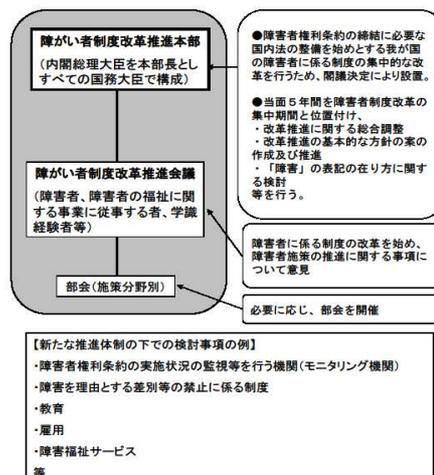
「この応益負担という非常にみなさまに重い負担と苦しみと尊厳を傷つけるこの障害者自立支援法を廃止する。応能負担に変える新しい制度を創設をしていく。ただしその際には、本当にみなさま方お一人お一人のご意見をできる限り拝聴して、みんなで一緒によりよい制度をつくっていきたい。」

2009. 12. 8

## 「障がい者制度改革推進本部」設置を閣議決定

資料1

### 障害者制度改革の推進体制



## 2010. 1. 7 基本合意



## 2010.1.12 第1回障がい者制度改革推進会議



## 質疑応答